

地域コミュニティとしてのふれあい・いきいきサロンの 包括性と持続性に関する研究

現代人間学部 福祉生活デザイン学科

教授 中村 久美

研究種目： 基盤研究(C)

研究期間： 2017年度～2019年度

研究分野： 衣・住生活学



居住の安定確保を掲げる居住政策のもと、住民同士の居住支援福祉活動は重要である。全国の社会福祉協議会主導で行われている「ふれあい・いきいきサロン」は、居住政策の面からも、また福祉政策においても、今後いっそうの定着と浸透が求められる。本研究は、既研究においてそのコミュニティとしての価値を明らかにしたサロン活動の、包括性、持続性に注目し、それらを備え得るしくみや方策を提案することを目的に、10年前に調査したサロンのその後の追跡調査と、モデルに選定した学区における検証調査を実施した。

多数のサロンが開かれている調査対象学区では、サロン連絡会によって各サロンの活動や地域の高齢者情報が共有されるとともに、サロンを見守る学区福祉委員や民生委員らとともに、サロンを介したネットワークの構築が確認され、高齢者を支えるコミュニティモデルに成りえると評価した。

おもな論文・研究発表

論文

- 1 中村久美:「地域コミュニティとしての『ふれあい・いきいきサロン』の持続性と包括性に関する研究」、日本家政学会誌 第70巻 第7号(2019)
- 2 中村久美:「高齢者の住生活におけるふれあい・いきいきサロンの位置づけ」、福祉生活デザイン研究、創刊号、27-34(2018)
- 3 中村久美:「地域コミュニティとしての『ふれあい・いきいきサロン』の評価」、日本家政学会誌、第60巻、第1号、29-37(2009)
- 4 中村久美、廣瀬直哉、田中みさ子:「まちづくり計画策定住宅地における住民の生活態度・意識—持続可能な郊外住宅地居住のための“地域に関わって住む”住み方に関する研究 その2—」、日本建築学会計画系論文集、第81巻、第725号、p.1433-1442(2016)
- 5 中村久美、廣瀬直哉、田中みさ子:「持続可能な郊外住宅地居住のための“地域に関わって住む”住み方に関する研究」、日本建築学会計画系論文集 第80巻、第711号(2015)

京都ノートルダム女子大学
研究・情報推進課

電話：075(706)3789
FAX：075(706)3793

電子メール：kenkyu@notredame.ac.jp

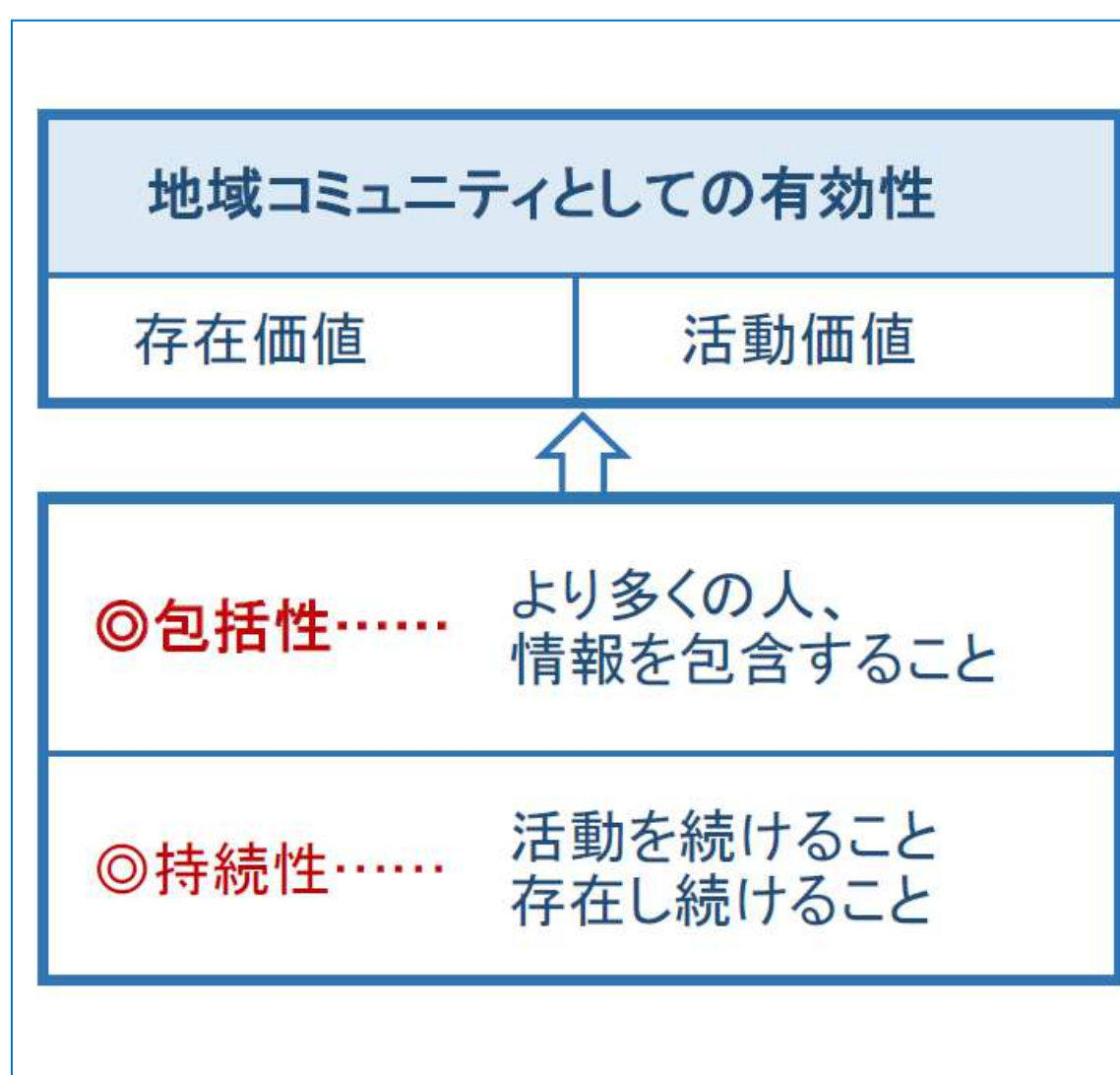


図1 サロンの価値と重要側面

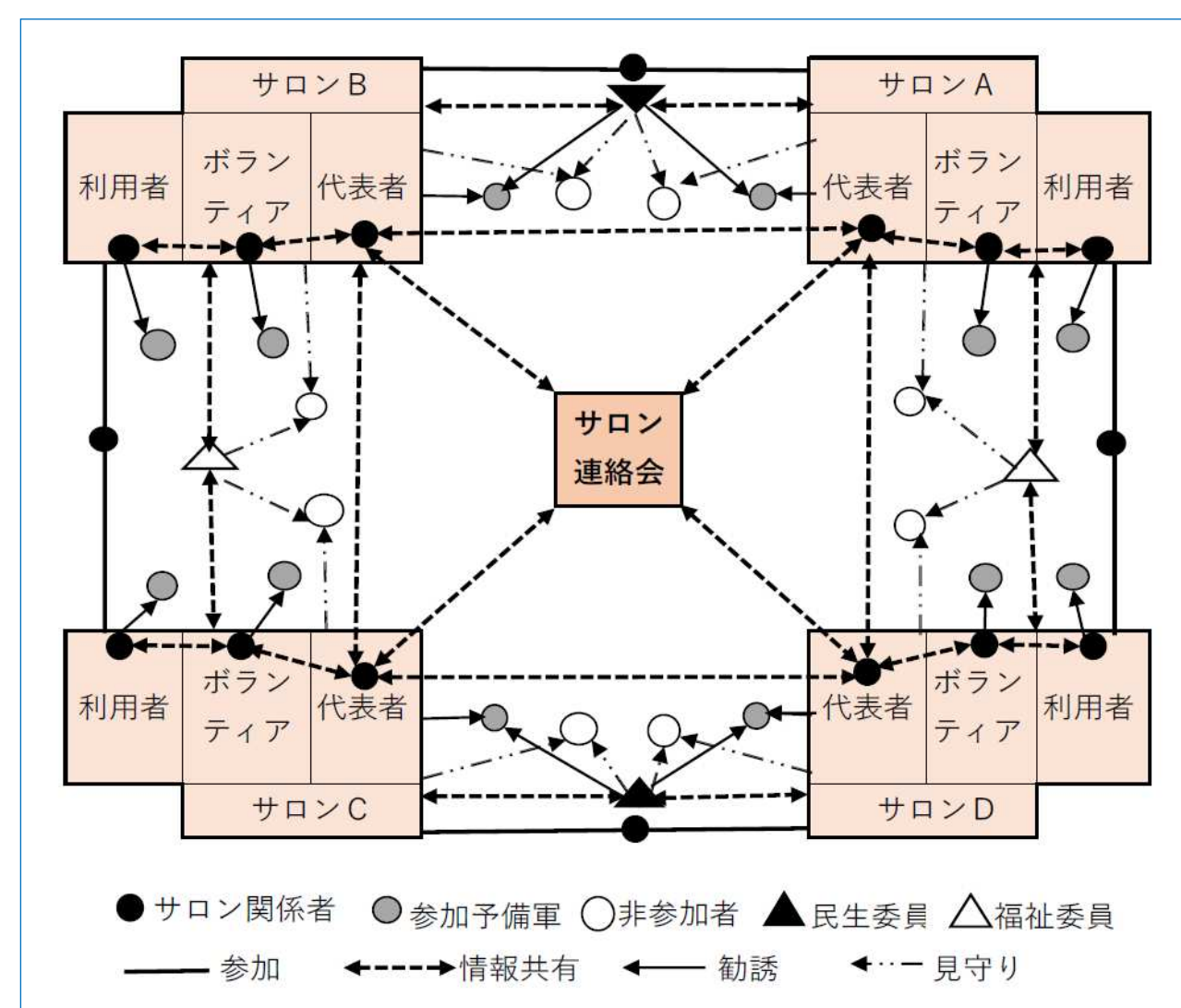


図2 モデル学区におけるサロンネットワーク